

第15回 病態生化学セミナーのご案内

日時：平成20年11月27日（木曜日）午後6時半～

場所：医学部看護学科棟3階 会議室

演題：ヒト肺癌の分子病態解明を目指した網羅的発現解析の応用

Global expression profiling analysis towards better understanding of lung cancer pathogenesis

演者：名古屋大学 大学院医学系研究科

神経疾患・腫瘍分子医学研究センター 分子腫瘍学

高橋 隆 教授

毎年6万人以上の生命を奪っている肺癌は、我が国をはじめとする先進諸国のがん死亡原因の第一位であり、また代表的な難治癌の一つでもある。我々はその分子病態の解明を目指した様々な角度からの研究を進めている。

肺癌の治癒をもっとも期待できるのは外科手術だが、治癒が期待できる比較的に早期に手術を受けたにもかかわらず、再発を来す症例がしばしばみられるが、我々はこれまでに肺癌の外科切除後の予後予測を可能とする判別モデルの構築に成功している。本セミナーでは、そのような再発・死亡を来す症例に特徴的に関わるパスウェイを、マイクロアレイ解析データのバイオインフォマティクス解析を通じて明らかとしているので報告する。また、さまざまな研究グループから報告された発現プロファイルに基づく予後予測モデル間で、同一癌腫を対象とするものにおいても、予測に用いられる遺伝子セットにほとんど一致が見られない理由について考察する。さらに、網羅的発現解析のマイクロRNA研究への応用についても、できれば触れたいと考えている。【高橋 隆】

連絡先：

浦野 健

島根大学 医学部 病態生化学

TEL 0853-20-2126

E-mail turano@med.shimane-u.ac.jp